

平成26年9月7日

育成会員各位

ボーイスカウト豊中第2団

団委員長 浜嶋敏一郎

平成26年度活動計画

――一致団結して2団を大きくしよう。みんなでボーイスカウト活動を楽しもう――

1. 活動方針

現在登録人数が減少しています。2団は、豊中地区で4番目か5番目の規模ですが、スカウトの人数比率で言うとスカウト数の規模は小さくなります。また、指導者は、他団と比較すると恵まれた状況にありますが、各指導者、団委員には相当頑張っていただいているのが現状です。

最近母の会の活動が役割分担され、V S 隊には、総会の準備と受付、B S 隊にはネックチ作成、C S 隊にはスカウト祭の準備、B V S 隊には隊員募集ちらしの効果的なデザイン案の提案、そして何よりもB V S 隊とC S 隊を中心とした隊員募集活動です。このような活動は育成会員のコミュニケーション機会を増やし、スカウトの教育の支援や自らが活動を楽しむことになります。ボーイスカウト活動を理解して自分自身を幸せにしましょう。私は、すべての育成会員が一致団結して関わっていただくことで2団を支えて頂いていることをたいへんうれしく思います。

皆さん、隊集会に参加してみてください。各隊とも人数が少なく、競い合う楽しみを味わうことができていません。少子化傾向でこれが当たり前になっていますが、スカウトは各学年8名の構成が基本です。増やしたいですね。スカウトのために、また指導者の応援のために多くの育成会員が必要です。

そこで、2団を大きくするためには2つの方法を展開します。

- ・「かっこういい団」とすること
- ・いろいろな隊員募集活動

みんなで力を合わせてスカウト活動を楽しくさせましょう。

2. 活動の目標

(1) 仲間を増やそう

目標登録数1000名。スカウト60名、指導者40名 6：4の比率が好ましい。

現在 68名 スカウト30名、指導者38名 (H26.3末)

(2) かつこういい団にしよう

団 : 地域に存在感を感じさせるPRを行う。

隊員募集活動を通じて、知名度を高め、地域に役立つことをしよう。

HPを使った情報発信を行う。

隊 : 指導者は、スカウトの憧れの人になろう。隊を誰が見ても魅力を感じるきりりとした行動をしよう。セレモニーをきちんとしてレベルアップしよう。

研修に参加して技能、ノウハウを高めよう。

スカウト : かつこうよく振る舞えるように基本を大切にしよう。

- ・大きな声をだせる。
- ・挨拶をきっちりできる。
- ・行動はきびきびできる。

保護者 : ボーイスカウト講習会に参加し、ボーイスカウト活動を理解しよう。
魅力を語れるように勉強しよう。

(3) 保護者全員が一致団結して役割を担おう

V S 隊 : 総会の準備と当日の受付

B S 隊 : ネッカチ作成

C S 隊 : スカウト祭の準備、隊員募集では仲間を誘おう。

B V S 隊 : 隊員募集のアイデア参画。仲間を増やす。

3. 2団の特徴

ユニークな特徴で注目を集める。世の中に求められる役割を果たす。日本連盟は、リーダーシップを発揮できるスカウトを養成しています。

(1) 誰もがかつこういいと思うスカウト、指導者、育成会員になる

- ・かつこういいと思ってもらえることがボーイスカウトの誇りと信じること
- ・「姿」や「振る舞い」のかつこうよさを追求する。
- ・高い安全意識を持った計画と実践力を示す。
- ・誰もが思いやりと感謝の心を持って行動する。

(2) 「英語の活動をしている団」としてイメージアップ

・各隊は、隊集会で英語を使おう

ースカウトが自主的に勉強するようになる。教えるのではなく「使う」。

ー英語塾よりも生きた英語を学べる。

・グローバルな活動の基本づくり

- ー外国語バッジ取得数を日本一とする。
- ーホームステイを受け入れる団。いつも身近に外国人スカウトがいる。
- ー外国人と継続して交流する。グローバルなスカウトや育成会員を育てる。

(3) 「スカウト漫才が大好きな団」はおもしろいな。

- ー舎営やキャンプ、スカウト祭で漫才をやろう。エンターテインメント能力の開発。
- ー各隊で作成した漫才をHPに掲載しよう

3. 隊員募集方法

多面的な隊員募集を展開する

(1) 12月24日サンタクロースプレゼント：クリスマスイブの幼稚園児に対するプレゼント代行。

- ーRS隊と団で団結、保護者が情報提供。
- ー東邦、熊野田、豊中幼稚園にビラ配り。
- ーサンタクロースとトナカイの衣装を着て家庭を訪問。チーム数を検討。
- ー自宅に訪問して保護者から預かったプレゼントを渡す。

条件：幼稚園児を持つ家庭。

デリバリーサービスの地域を限定する。

人数の定員を決める。

チラシ作成：浜嶋+ビーバー隊保護者

チラシ配布：東邦、熊野田は、園に依頼。豊中は入口で手渡し。

支援：申込者との連絡を団委員及び保護者が支援。

(2) 栗ヶ丘自治会との連携

- ー自治会バザー時の防災訓練の協力。同時に子ども会を対象にゲームの実施。
- ー栗ヶ丘会館にポスター掲載。

(3) 縄跳び記録を更新

3人及び5人+回す人2名のチームで、連続跳び回数の記録を公開する。

- ー小学1年生から6年生まで、中学、高校、それ以上の年代別で実施。
- ーホームページに掲載する。
- ー新記録は、表彰する。

記録会を開催：わくわくカーニバル、親子ハイク、バザー、運動会、隊集会

(4) バザー時の体験集会の開催

ー主にスカウトの友達勧誘。

(5) 親子ハイクのカ開催

ー地域の人にプログラムを提供

4. 地域との連携

これで直接スカウトが増えるわけではない。ボーイスカウト並びに2団の存在感をアピールする事が狙い。他の地域団体と仲良くする。

(1) 桜塚小学校

- ・公民分館の活動の協力団体として登録
- ・敬老の日のお手伝い、地区体育祭のお手伝い、
- ・文化祭、夏祭りのモンキーブリッジ

(2) 熊野田小学校

- ・ウインターフェスティバルでモンキーブリッジ、縄跳び

(3) 南桜塚小学校

- ・みなさく子供教室プログラムの協力

(4) 第三中学校

- ・さわやかフェスタのモンキーブリッジ

以上